



じょうもん えすでいーじーず 縄文とSDGs



北海道庁 縄文世界遺産推進室 特別研究員の阿部千春先生に、縄文と最近話題のSDGsについて聞いてみました

- 🗨️ 阿部先生、一万年以上続いた縄文の生活とSDGsの活動って、似ていますよね？
- 🌟 そうかなぁ…。縄文とSDGsは、ある意味で真逆の発想なんだよね。
- 🗨️ えー、ど、どうして…(・_・;)?? おしえて！阿部先生！！
- 🌟 まず、人類の歴史をみると、氷期の寒冷な環境の中でマンモスなどの大型草食獣を追いながら「移動生活」していた時期が圧倒的に長いんだよね。移動していた時は、亡くなった人、壊れた道具、食べた後のゴミなどはその場所において、また移動していたんだよね。でも、約1万5千年前に温暖化が始まって、山・川・海など周辺の自然から食料を得られるようになると「定住生活」に移行したんだ。これが「縄文文化」だよ。
- 🗨️ うん、うん。
- 🌟 定住生活になり、みんなが長期間一緒に暮らすことによって、家族、集落、社会の絆が一層深まって安定した生活が実現したんだけど、一方で、ゴミの処理など現代社会にもつながる問題も起きて不思議はなかったんだ。ゴミはそのまま捨てると、病気が発生して集落到住めなくなるし…。でも縄文社会は1万年以上続いた。
- 🗨️ どうして???
- 🌟 それはね…。あ、もう時間だね。じゃあ次の回から具体的にみていこう！<次号へ続く>

北海道・北東北の縄文遺跡群 デジタルアーカイブ

北海道・北東北の縄文遺跡群に関する情報(写真画像動画、調査研究成果等)を、誰でも無料でダウンロードすることができます。



<https://jomon-japan.jp/archives>

<北海道発> 縄文初心者むけやさしい縄文読本 JOBON



「縄本」のバックナンバーはこちらからダウンロードできます。



www.jomon-do.org/jobon

※本リーフレットは「北の縄文道民会議」公式サイトからダウンロードし、幅広くご活用(印刷、無償配布等)いただけます。ただし価格をつけての販売や内容の改変は禁じます。著作権は制作者に帰属します。詳細はwebサイトにてご確認ください。

<北海道発> 縄文初心者むけやさしい縄文読本 【縄本 JOBON (ジョーボン)】 vol.02「縄文きほんのき」
発行日: 2022年1月9日 / 制作・発行: 北の縄文道民会議、ドニワ部 / デザイン・イラスト: 種田 梓、上田 忠太郎、To.t



JOBONに関するお問合せ
北の縄文道民会議
札幌市中央区大通東1丁目3中央バスターミナル2F
CBツアーズカンパニー内 TEL: 011-221-1122

世界文化遺産の縄文遺跡群に関するお問合せ
北海道環境生活部文化局文化振興課
縄文世界遺産推進室
TEL: 011-204-5168



JOBON

北海道発
縄文初心者むけ
やさしい縄文読本

今から始める!

縄文きほんのき



vol.02

すごいぞ！土器の世界

1万5千年前の大発明！

北東アジア最古の土器は、青森県大平山元遺跡から出土した 15,000 年前のもの。煮炊きの跡もついています。それまで人々は、木や動物の骨や角を削ったり割ったりしながら道具を作っていましたが、縄文人は初めて、何もないところから粘土をこね、熱で化学反応を起こさせて新しい道具を生み出しました。それが土器。このことにより食生活も暮らし方も大きく変化したのです。すごいぞ！！縄文土器。

土器と一緒に 定住生活へ

縄文人が採集・漁労・狩猟をしながらも定住生活を実現できたのは、自然と向き合い計画的に食物をとり、土器により貯蔵もできたから。縄文人は、「狩猟・採集＝移動」という世界の常識を覆したのです。

土器のカタチ

津軽海峡を挟んで北海道と北東北の土器の変遷はそっくり。同じ文化圏として交流したことが伺えます。一方、ゴージャスな「火焔土器」は、新潟県周辺でのみ出土している地域特有のもの。北海道や他の地域では見られません。

熱々の縄文鍋も？

土器を使って魚や肉をグツグツ煮込み、山菜や木の実のアクを抜き、サンショウやシソなどの調味料を加えて最高グルメ。また、木の実などを入れて貯蔵もできました。





形も用途も バラエティ豊かに

縄文後期・晩期になると、形も文様も複雑になり、マツリや儀式に使われたことも推測されます。埋葬に使った土器もあるようです。


マンモスを食べていた人が突然ベジタリアンにはならない


土器は、ドングリなどの堅い植物を煮て食べるために発明されたと言われているが、その定説が大正3遺跡出土の土器によって覆された。この土器は縄文草創期（約 1 万 4 千年前）のもので北海道最古に位置づけられている。その土器の内面にこびり付いた炭化物（おこげ）を帯広市教育委員会が採取し、窒素・炭素安定同位体の分析をしたところ、「海洋性魚類」を煮たことがわかった。食料がマンモスなどから海洋性の動物に変わったのだらう。

 展示ではただ「土偶」って書かれているものが多いけど、私はお気に入りの土偶にはぜひ名前をつけたいの！

 私は江別市のペア土偶※06が大好き！
名付けて「ラブラブ江別」




 ペア土偶はクマみたいでカワイイしすごく人気よね！「えっちゃん・べっちゃん」（あわせて「えべつ」）って言ってた女子もいたわよ。


 かさなりあって… この2体はお墓の上に重なって置いてあったそう。二人の子供が一緒に作ってお母さんのお墓に…なんて感動ストーリーを想像しちゃう。




 感動ものの映画一本撮れそうね…。

 私は「イケメン土偶」※07かな。札幌市西区にある「N30遺跡」で見つかった大型の土偶なの。肩幅が広くて、ちょっとニコッとするとこも素敵！
「N30土偶」じゃ味気ないから、やっぱり「イケメン土偶」って呼びたい！




 私は千歳の「男性土偶」※08！千歳市の埋蔵文化財センターには「ビビちゃん」や「ママチ土面」など人気者がいて忘れられがちだけど、見逃し注意！ちゃんとしてる（笑）




 新千歳空港の滑走路の下で出土したっていう「ビビちゃん」※09 ね！


これ、本当になんなのかな、水鳥とかオットセイとか言われるけど、うつ伏せ？ 仰向け？ 丸い穴が口で模様が目に見える？ と言う人もいるし。
角度によって全然違って見えるけど、形も模様も本当に凝っていてキレイ！





 びっくりの出土品と言えば、鷲ノ木4遺跡の「イカ形土製品」※10。森町特産の「イカ飯」に本当にそっくり！
鐸形土製品（たぐがたせひん）の一種らしいけど、よくぞこのマチで！




 土偶を前後左右からじっくり見ると、いろんな発見があるのよね。

 アタマの後ろや横に何かついている土偶が多いの。仮面をヒモのようなもので縛っているのか、髪を結っているのか。

 そうそう。漆の櫛やアクセサリーもたくさん出土しているし、縄文人は相当オシャレだったはず。みんなどんな髪型してたのかとかすごく気になる！いろいろこだわる時間もたくさんあったと思うし。

 気になると言えば服装も！カクウの身体の模様ってすごく素敵よね、こんな服を着ていたのかも。お腹部分は服着てないみたいけど、セパレート？でも背中には模様があるのよねー。

 背中！実際に見てみないとわからないわね。今度はみんなそろって女子旅よ！！

(つづく)

※01：足形土版 / 函館を中心に道南の一部のエリアで集中的に出土する、子供の足形がつけられた土版。 ※02：カクウ / 函館市縄文文化交流センター所蔵の北海道唯一の国宝土偶。南茅部で出土した中空土偶なので、通称「茅空（カクウ）」と呼ばれている。 ※03：キノコの土製品：青森を中心に出土しているキノコそっくりの土製品。用途は不明だが、食用・毒キノコの見分けツールとして使われていた説も。 ※04：角偶 / 函館市戸井貝塚で出土した、鹿の角製品。地元では「戸井ちゃん」と呼ばれているらしく、タレントで道南縄文大使の藤岡みなみさんは「アナスタスタ」と命名している。 ※05：ジャミラ / 特撮テレビ番組「ウルトラマン」をはじめとする「ウルトラシリーズ」に登場する架空の怪獣。(C)円谷プロ ※06：ペア土偶 / 江別市で2体が重なり合った状態で発掘されたペアの板状土偶。クマのようなかわいらしいフォルムで女性に人気。 ※07：イケメン土偶 / 札幌市西区のN30遺跡から出土した大型の土偶。性別は不明だが、見た感じはイケメンさん。札幌市民の認知度は恐ろしく低い。札幌市埋蔵文化財センター所蔵。 ※08：男性土偶 / 千歳市で出土した、女性モチーフの土偶の中ではとても珍しい「男性土偶」。ついています。 ※09：ビビちゃん / 千歳市美々4遺跡から出土した大型の土製品。なんの生き物がモチーフになっているのかについては、見る角度によって、アザラシなどの海獣、水鳥、ウサギなどいろいろな説が入り乱れている。胴体に穴があいているため、笛などの楽器説も。 ※10：イカ形土製品 / 森町といえば「イカめし」というくらい、「イカめし」が有名な場所で、イカめしそっくりの土製品が出土する奇跡。ふっくら炊けたイカめしそっくりです。ほんとです。

★【縄文女子の妄想トーク】は、縄文をこよなく愛する縄文女子たちの個人の主観に基づく妄想トークがメインになっています。学術的に正しいかどうかは置いておいて、素人目線の「こうだったのかな」「こうだったらいいな」という妄想ワールドを、どうか生暖かい目で楽しんでいただけたら嬉しいです。